

平成 30 年度 事業報告書

1. 助成事業

平成 30 年度の助成事業は、研究費助成、海外渡航費助成および長期間海外派遣滞在費助成の公募を行い、総額 2,260 万円を実施しました。平成 30 年度公募の概況は、以下の通りです。

(1) 研究活動費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する研究費の助成を目的とした研究費助成事業は、平成 30 年 3 月 1 日から 4 月 15 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、73 件の応募があり、選考委員会において、以下の 64 件の研究に対して助成を行うことを決定し、2,020 万円の助成を実施しました。

- | | | | |
|----|--|----------------------------------|--------|
| 1 | ヒト下肢リンパ系の 3 次元構築の解明～解剖研究からリンパ浮腫診断・治療への応用～ | 岡山大学 大学院 医歯薬学総合研究科 助教 品岡 玲 | 370 千円 |
| 2 | 骨微小環境を介した制御性 B 細胞の維持機構の解明 | 岡山大学 大学院 医歯薬学総合研究科 助教 山田 大祐 | 300 千円 |
| 3 | ニコチンによる口腔癌リンパ節転移の促進機構の解明とその阻害効果の検討 | 岡山大学 大学院 医歯薬学総合研究科 助教 伊原木 聡一郎 | 300 千円 |
| 4 | 抗癌免疫破綻における新規チェックポイント阻害薬の作用機序の解明 | 岡山大学 大学病院 泌尿器科 医員 定平 卓也 | 300 千円 |
| 5 | 腎臓における SGLT2 阻害剤によるトランスポーター変化の検討 | 岡山大学 大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科 講師 喜多村 真治 | 300 千円 |
| 6 | 含ホウ素機能性色素を基盤とした円偏光発光材料の開発 | 岡山大学 大学院 自然科学研究科 助教 前田 千尋 | 410 千円 |
| 7 | 腸炎の治療および大腸がん予防に効果のある化合物の免疫学的検討 | 岡山大学 大学院 自然科学研究科 助教 増田 潤子 | 350 千円 |
| 8 | 空間ネットワーク環境における二色逆最近傍探索に関する研究 | 岡山大学 大学院 自然科学研究科 准教授 後藤 佑介 | 350 千円 |
| 9 | エキシプレックス/エキシマー有機円偏光発光色素の開発 | 岡山大学 大学院 自然科学研究科 講師 高石 和人 | 450 千円 |
| 10 | 破骨細胞のアポトーシスを誘導する SB-203207 の全合成と高活性アナログの創製 | 岡山大学 大学院 自然科学研究科 准教授 早川 一郎 | 400 千円 |
| 11 | 高解像度の面的な地形データを用いた、旭川の河床変動解析の精度向上に関する検討 | 岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 吉田 圭介 | 450 千円 |
| 12 | 歴史的砂防施設「別所砂留」の持続可能な保存整備に向けた調査研究 | 岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 樋口 輝久 | 350 千円 |
| 13 | 疎水性キャピラリー・バリアを持った河川堤防の安全性に関する研究 | 岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 金 秉洙 | 450 千円 |
| 14 | 高精度氾濫解析と避難経路解析を組み合わせた防災シミュレーターの開発 | 岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 赤穂 良輔 | 450 千円 |
| 15 | 日本で高度に多様化した植物群テンナンショウの多様性維持機構の解明 | 岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 教授 廣部 宗 | 350 千円 |
| 16 | 含フッ素天然化合物をリードとした化合物ライブラリーの構築 | 岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 泉 実 | 400 千円 |

- 17 母体-初期胚間の情報伝達を担う卵管エクソソーム中マイクロ RNA の網羅的解析
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 山本 ゆき 400 千円
- 18 岡山県特産セイヨウナシ「パスクラサン」果実の成熟機構解析とその応用による貯蔵・流通技術の確立
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 教授 久保 康隆 350 千円
- 19 光化学系Ⅱ修復過程におけるタンパク質酸化損傷の役割の解明
岡山大学 資源植物科学研究所 助教 加藤 裕介 350 千円
- 20 水素吸蔵法と μ SR 法を用いた新規イリジウム酸化物超伝導体の開発
岡山大学 異分野基礎科学研究所 特任准教授 堀金 和正 350 千円
- 21 岡山県内の障害者就労実態調査に基づく就労支援システムモデルの検討
岡山大学 全学教育・学生支援機構 講師 池谷 航介 200 千円
- 22 乳児を養育する親の産後うつと睡眠、生活状況に関する海外との比較研究
岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 池田 理恵 320 千円
- 23 身体性アバタを介したリフレクションによる看護コミュニケーション教育支援システム
岡山県立大学 保健福祉学部 助教 高林 範子 320 千円
- 24 医療従事者の性的少数者に対する知識と意識、看護実践に関する実態調査
岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 井上 幸子 300 千円
- 25 筋電・筋音ウェアラブルモニタを応用した骨格筋機能の可視化システムの開発
岡山県立大学 情報工学部 准教授 綾部 誠也 330 千円
- 26 接触により親近感を増大させる瞳孔反応ロボットの開発
岡山県立大学 情報工学部 助教 瀬島 吉裕 300 千円
- 27 アバタ影コミュニケーションシステムを用いたインタラクション支援
岡山県立大学 情報工学部 准教授 石井 裕 330 千円
- 28 自然言語処理を用いたソフトウェア要件管理技術に関する研究
岡山県立大学 情報工学部 助教 天寄 聡介 300 千円
- 29 無線ボディアエリアネットワークにおけるデータとノードの優先度に応じた高信頼アクセス制御に関する研究
岡山県立大学 情報工学部 助教 高林 健人 200 千円
- 30 使用者の状態推定に基づき動作と音声で反応する身体的引き込みキャラクタシステムの開発
岡山県立大学 デザイン学部 准教授 西田 麻希子 180 千円
- 31 展示空間の文脈を伝えるテキスタイルデザインの開発と提案
岡山県立大学 デザイン学部 助教 岡本 汐加 200 千円
- 32 教育効果のある木育玩具のデザイン指標づくりと研究開発
岡山県立大学 デザイン学部 助教 林 秀紀 200 千円
- 33 含ヘテロパイ電子系ユニットを有するプリンタブル太陽電池材料の開発
岡山理科大学 理学部 准教授 岩永 哲夫 400 千円
- 34 高梁市布賀鉱山産ホウ酸塩鉱物のホウ素同位体に基づく鉱床生成環境とホウ素の起源についてー地球化学的手法の確立と他分野への提案とその可能性ー
岡山理科大学 理学部 教授 小林 祥一 400 千円
- 35 高分子基複合材料の衝撃層間せん断特性評価法の確立
岡山理科大学 工学部 准教授 中井 賢治 400 千円
- 36 防災気象情報基準を備えた雨量計システムの開発
岡山理科大学 生物地球学部 准教授 佐藤 丈晴 350 千円
- 37 日本産ヤリテンツキ(カヤツリグサ科植物)の系統分類学的研究～遺伝的な地理的境界線の成立要因の解明～
岡山理科大学 生物地球学部 講師 矢野 興一 290 千円
- 38 運動は炎症性腸疾患を予防するポジティブ・アクションとなりうるか？
倉敷芸術科学大学 生命科学部 専任講師 椎葉 大輔 340 千円
- 39 筋音図・筋電図を用いた筋コンディションの定量評価法の開発
倉敷芸術科学大学 生命科学部 准教授 枝松 千尋 400 千円
- 40 内向き整流性 K⁺チャネル遮断ペプチドの探索と作用の解明
倉敷芸術科学大学 生命科学部 教授 岡田 誠剛 300 千円

41	プラナリア多能性幹細胞集団内での生殖系列決定機構 津山工業高等専門学校 総合理工学科 准教授 前澤 孝信	210 千円
42	高演色LED光源を用いた農産物の外観色評価装置の開発 津山工業高等専門学校 総合理工学科 特命教授 眞鍋 由雄	350 千円
43	再生を保証する自己複製/分化スイッチング機構の解明 津山工業高等専門学校 総合理工学科 准教授 柴田 典人	300 千円
44	漏れ性向上効果を有する銅温間酸化被膜の構造と伝熱性評価 津山工業高等専門学校 総合理工学科 講師 竹村 明洋	350 千円
45	環境負荷の小さい硫化ズズ薄膜太陽電池の禁制帯不連続の制御による高効率化に関する研究 津山工業高等専門学校 総合理工学科 教授 中村 重之	380 千円
46	<i>Streptomyces cinnamononeus</i> ゲノム情報を利用した有用酵素の探索 岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 グループリーダー 畑中 唯史	300 千円
47	病害抵抗性植物の効率的選抜を可能にする免疫応答可視化ツールの開発 岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 特別研究員 中野 真人	190 千円
48	栽培化により失われたトマトの短日性を支配する鍵遺伝子の解明 岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 専門研究員 後藤 弘爾	300 千円
49	新たに見出されたモモ不稔現象の詳細解析 岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 専門研究員 小田 賢司	300 千円
50	発酵乳ホエーより単離した睡眠を誘導するペプチドの作用機序の解明 就実大学 薬学部 教授 坪井 誠二	300 千円
51	ヒトシトクロムP450 分子種の基質特異性の予測 就実大学 薬学部 教授 丹羽 俊朗	300 千円
52	鳥類アデノ随伴ウイルス (AAAV) 受容体の機能解析 就実大学 薬学部 准教授 工藤 季之	280 千円
53	慢性炎症を駆動する「AGEs-RAGE 系」の活性化メカニズムの解明 就実大学 薬学部 助教 渡邊 政博	250 千円
54	脳内液体循環システムを利用した経鼻薬物送達法による新規な認知症治療法の開発 就実大学 薬学部 助教 井上 大輔	250 千円
55	ドイツ健康靴の日本市場への導入・定着に関する歴史的研究 就実大学 経営学部 講師 三浦 紗綾子	200 千円
56	新しい細胞動態評価法でスクリーニングした抗腫瘍薬の応用 川崎医科大学 教授 山内 明	350 千円
57	糖尿病性腎症における糸球体内皮・上皮細胞連関における Inflammasome を介した炎症遷延化（慢性炎症）機序解明 川崎医科大学 講師 長洲 一	350 千円
58	カルバペネム耐性大腸菌の駆除を目指したファージ療法の開発 川崎医科大学 講師 川野 光興	300 千円
59	腸内環境維持とコンディションに関する研究 ―外環境変化と腸内細菌叢の関連― 川崎医療福祉大学 医療技術学部 准教授 松生 香里	170 千円
60	食餌誘導性肥満マウスの不安様行動におよぼす運動の効果 川崎医療福祉大学 医療技術学部 助教 小柳 えり	190 千円
61	保育士の早期離職対策としての「リアリティショック予防プログラム」の開発 山陽学園大学 総合人間学部 准教授 松浦 美晴	200 千円
62	日常活動レベルの異なる対象者における筋骨筋電センサの有効性に関する研究 環太平洋大学 体育学部 准教授 早田 剛	230 千円
63	新規ゲノム編集ラット作成法 rGONAD 法を用いた腎臓病モデルラットの開発 重井医学研究所 分子遺伝部門 室長 松山 誠	330 千円
64	頭頸部癌および難聴による音声・言語障害における新規代用音声法の開発 岡山済生会総合病院 耳鼻咽喉科 医長 平井 美沙都	330 千円

(2) 海外渡航費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外渡航費の助成を目的とした海外渡航費助成事業は、平成 30 年 3 月 1 日から 4 月 15 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、12 名の応募があり、選考委員会において、以下の 10 名の研究者に対して助成を行うことを決定し、総額 150 万円の助成を実施しました。

1	国際会議 ICONIP2018 に出席、論文発表 岡山大学 大学院 自然科学研究科 助教 新妻 弘崇	200 千円
2	国際環境疫学会 ISEE2018 でシンポジウムを開催 岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 頼藤 貴志	200 千円
3	国際シンポジウム(8th International Sweetpotato Symposium)に参加、研究発表 岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 門田 有希	110 千円
4	EMRS 国際会議に出席、招待講演を行う 岡山大学 理学部 准教授 武安 伸幸	120 千円
5	放射光施設 ESRF、ALBA における分光実験の参加・実施 岡山大学 異分野基礎科学研究所 講師 寺嶋 健成	200 千円
6	アメリカ機械工学会(ASME)の国際学会での講演等 岡山県立大学 情報工学部 准教授 大田 慎一郎	150 千円
7	国際会議(2018 Global IOT summit)での研究発表等 岡山県立大学 情報工学部 助教 高林 健人	150 千円
8	国際会議(HCII2018)に出席、研究発表 岡山県立大学 情報工学部 助教 瀬島 吉裕	150 千円
9	国際学会へ参加、研究発表 岡山理科大学 教育学部 講師 笹山 健作	110 千円
10	国際学会へ参加、研究発表 川崎医療福祉大学 医療技術学部 助手 氏川 拓也	110 千円

(3) 長期間海外派遣滞在費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外派遣滞在費の助成を目的とした長期間海外派遣滞在費助成事業は、平成 29 年 9 月 15 日から 10 月 31 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、2 名の応募があり、選考委員会において、以下の 1 名の研究者に対して助成を行うことを決定し、90 万円の助成を実施しました。

1	脳梗塞後リハビリテーションにおける治療時間依存性の分子メカニズム 川崎医科大学 助教 岡部 直彦	900 千円
---	---	--------

2. 優秀研究者表彰事業

この事業は、当財団の研究活動費助成事業で実施した研究をもとに、学会等に論文として発表することで学術的に評価された研究実績を上げた研究者や、研究成果を実用化させるなど大きく社会に貢献・活用される功績を上げた研究者を表彰するものです。

平成 30 年度は、7 件の応募があり、審査の結果、受賞者は以下の 2 名に決定しました。

岩崎 真之 （岡山大学 異分野基礎科学研究所 助教）

【研究題目】 「遷移金属触媒を用いた炭素-水素結合の直截硫黄化反応の開発」

：平成 25 年度研究活動費助成事業

【審査評価】 研究成果を論文発表し、優れた学術的功績を上げている

大橋 唯太 （岡山理科大学 生物地球学部 准教授）

【研究題目】 「人のバイタル・モニタリングによる寒冷ストレス評価

—冷たい局地風「肱川あらし」の事例—」

：平成 28 年度研究活動費助成事業

【審査評価】 研究成果を論文発表し、優れた学術的功績を上げている

平成 30 年度受賞者の表彰式は、令和元年 5 月 30 日に開催され、表彰状と副賞（研究奨励金 30 万円）が贈呈されます。

また、平成 30 年度の事業費として実施された「平成 29 年度優秀研究者表彰事業」は、1 名の受賞者に対して表彰状と副賞を贈呈し、335 千円を支出しました。

3. 研究者交流事業

定款第4条第1項第6号に掲げる事業は、次のとおり総額1,217千円を実施しました。

(1) 交流会事業

この事業は、助成を受ける研究者とその関係者の交流並びに情報交換を目的に、優秀研究者表彰式（平成30年6月4日）開催後と研究発表会（平成31年1月29日）開催後に、ANAクラウンプラザホテル岡山にて立食パーティー形式の交流会を開催しました。

終始なごやかな雰囲気での交流がなされ、事業費としては、1,096千円を支出しました。

(2) 研究発表会事業

この事業は、助成を受ける研究活動における最先端技術の開発状況を研究者が自ら発表することにより、研究成果の普及を促し、各分野における技術開発の推進及び発展に寄与することを目的に行うものです。平成30年度は、平成31年1月29日にANAクラウンプラザホテル岡山で開催しました。当日は90名が受講し、研究内容について様々な質問がなされ、最先端技術への関心の深さが伺えました。

なお、研究発表者は以下の6名で、事業費としては、121千円を支出しました。

- 1 （平成29年度学術研究費助成）
「IL-6-JAK カスケードを標的とした炎症性骨破壊疾患に対する新たな治療戦略の構築」
岡山大学病院 歯周科 講師 大森 一弘
- 2 （平成29年度学術研究費助成）
「航空レーザー測深による旭川河道の計測と洪水流解析精度向上への応用」
岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 吉田 圭介
- 3 （平成29年度学術研究費助成）
「MMSで取得した大規模全球画像群による高精度な空間検索」
岡山理科大学 工学部 講師 太田 寛志
- 4 （平成29年度学術研究費助成）
「複数のカメラを用いた超高信頼防犯システムの開発」
川崎医療福祉大学 医療技術学部 講師 近藤 真史
- 5 （平成28年度長期間海外派遣滞在費助成）
「海外派遣滞在研究者の報告」
 - ① 岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科
(助成時：岡山大学 工学部) 助教 楊 家家
 - ② 信州大学 国際ファイバー工学研究所
(助成時：岡山大学大学院 自然科学研究科) 助教 望月 建爾

(3) 事業報告書の作成

平成30年度の事業状況及び学術研究費助成の研究成果報告書をまとめた事業報告書170部を作成しました。尚、この事業報告書の作成費は令和元年度予算により実施されます。

また、平成30年度の事業費として実施された「平成29年度事業報告書」作成費は、550千円となります。

4. 処務の概要

(1) 役員に関する事項

理 事

(平成31年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
理事長	山地 弘	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 代表取締役社長	
理 事	千葉 喬三	非常勤	無	中国学園大学 学長	
理 事	波田 善夫	非常勤	無	岡山理科大学 教授	
理 事	大崎 紘一	非常勤	無	岡山商科大学 副学長	
理 事	沖 陽子	非常勤	無	岡山県立大学 副学長	
常務理事	大倉 一夫	非常勤	無	株式会社アクアメント 代表取締役社長	

監 事

(平成31年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
監 事	福原 一義	非常勤	無	福原一義公認会計士事務所 公認会計士	
監 事	普門 仁利	非常勤	無	株式会社アクアメント 管理部長	

評 議 員

(平成31年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
評議員長	松原 利直	非常勤	無	株式会社ウエスコ 代表取締役社長	
評議員	藤原 健史	非常勤	無	岡山大学 大学院 環境学研究科 教授	
評議員	富田 栄二	非常勤	無	岡山大学 大学院 自然科学研究科 教授	
評議員	高橋 吉孝	非常勤	無	岡山県立大学 保健福祉学部 教授	
評議員	加藤 貞則	非常勤	無	株式会社中国銀行 代表取締役専務	
評議員	角南 輝行	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 取締役	

(2) 職員に関する事項

(平成31年3月31日現在)

職 名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	担当事務	現職名	備考
職 員	永山 彰	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホール ディングス 社員	
職 員	本間 誠之	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホール ディングス 社員	

(3) 役員会等に関する事項

①理事会

回	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回	平成30年4月24日	・第1回評議員会開催の件	書面で同意を得た
第2回	平成30年6月4日	・平成29年度事業報告及び付属明細書の承認の件 ・平成29年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件 ・第2回評議員会開催の件 ・平成30年度助成者決定の報告の件 ・銀行借入額決定の件	承認可決された 承認可決された 承認可決された 事務局より報告した 事務局より報告した
第3回	平成30年10月22日	・株式会社ウエスコホールディングス定時株主総会における議決権行使の件	書面で同意を得た
第4回	平成30年11月28日	・第3回評議員会開催の件	書面で同意を得た
第5回	平成31年1月29日	・平成31年度事業計画承認の件 ・平成31年度収支予算承認の件 ・銀行借入の件	承認可決された 承認可決された 承認可決された
第6回	平成31年2月12日	・第4回評議員会開催の件	書面で同意を得た

②評議員会

回	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回	平成30年6月4日	・平成29年度事業報告及び付属明細書報告の件 ・平成29年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書報告の件 ・平成30年度助成者決定の報告の件 ・銀行借入額決定の件	事務局より報告した 事務局より報告した 事務局より報告した 事務局より報告した
第2回	平成30年6月20日	・平成29年度事業報告・貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件	書面で同意を得た
第3回	平成31年1月29日	・平成31年度事業計画承認の件 ・平成31年度収支予算承認の件 ・銀行借入の件	承認可決された 承認可決された 承認可決された
第4回	平成31年2月15日	・定款の一部変更の件	書面で同意を得た

(4) 主務官庁等の許可、認可及び承認に関する事項

該当なし

(5) 寄附金に関する事項

寄附目的	寄 附 者	領収金額(円)	備 考(受入日)
運用財産	株式会社 森測量器械店	10,000	平成30年4月11日
運用財産	株式会社 今永製本	10,000	平成30年4月13日
運用財産	コクヨマーケティング 株式会社	20,000	平成30年4月27日
運用財産	有限会社 通クリック社	10,000	平成30年4月23日
運用財産	大和証券 岡山支店	30,000	平成30年4月24日
運用財産	富士ゼロックス岡山 株式会社	10,000	平成30年5月7日
運用財産	SMB C日興証券 岡山支店	10,000	平成30年5月18日
運用財産	三井住友銀行 岡山支店	10,000	平成30年6月12日
運用財産	山陰合同銀行 岡山支店	20,000	平成30年6月27日
運用財産	トマト銀行 岡山支店	10,000	平成30年7月10日
運用財産	株式会社 トヨタレンタリース岡山	50,000	平成30年8月20日
運用財産	みずほ証券 岡山支店	10,000	平成30年8月31日
合 計		200,000	

(6) 契約に関する事項

該当なし

(7) 主務官庁の指示に関する事項

該当なし

(8) 税法上の収益事業の有無

該当なし

(9) その他の注意事項

該当なし

5. 事業報告書の付属明細書

平成31年3月期における重要事項は無く、期末における事業報告書の付属明細書に記載すべき事項はありません。

貸借対照表

平成31年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度 (H31/3/31)	前 年 度 (H30/3/31)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,857,254	9,282,554	1,574,700
未収金	0	0	0
預け金	0	0	0
流動資産合計	10,857,254	9,282,554	1,574,700
2. 固定資産			
基本財産			
投資有価証券	708,717,000	824,585,000	△ 115,868,000
普通預金	20,000,000	20,000,000	0
定期預金	0	0	0
基本財産合計	728,717,000	844,585,000	△ 115,868,000
固定資産合計	728,717,000	844,585,000	△ 115,868,000
資産合計	739,574,254	853,867,554	△ 114,293,300
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	739,584	0	739,584
流動負債合計	739,584	0	739,584
負債合計	739,584	0	739,584
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	678,000,000	794,000,000	△ 116,000,000
投資有価証券	30,717,000	30,585,000	132,000
受贈定期預金	20,000,000	20,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	728,717,000	844,585,000	△ 115,868,000
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
指定正味財産合計	728,717,000	844,585,000	△ 115,868,000
2. 一般正味財産	10,117,670	9,282,554	835,116
正味財産合計	738,834,670	853,867,554	△ 115,032,884
負債及び正味財産合計	739,574,254	853,867,554	△ 114,293,300

正味財産増減計算書

平成30年4月1日 から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度 (H30.4.1-H31.3.31)	昨年度 (H29.4.1-H30.3.31)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産有価証券受取利息	609,000	609,000	0
基本財産受取利息	249	4,068	△ 3,819
基本財産受取配当金	26,000,000	23,858,400	2,141,600
基本財産運用益計	26,609,249	24,471,468	2,137,781
② 特定資産運用益			
受取寄付金	200,000	0	200,000
受取寄付金計	200,000	0	200,000
③ 雑収益			
有価証券品貸料	0	167,113	△ 167,113
受取利息	0	112	△ 112
雑収益計	0	167,225	△ 167,225
経常収益計	26,809,249	24,638,693	2,170,556
(2) 経常費用			
① 事業費			
支払助成金	22,600,000	21,300,000	1,300,000
表彰事業	335,100	575,060	△ 239,960
会議費	1,217,174	1,108,649	108,525
印刷費	549,596	577,368	△ 27,772
消耗品費	47,051	0	47,051
旅費交通費	50,000	0	50,000
通信費	145,614	123,696	21,918
雑費	100,000	0	100,000
事務委託費	384,000	384,000	0
家賃	96,000	96,000	0
事業費計	25,524,535	24,164,773	1,359,762
② 管理費			
会議費	57,035	65,129	△ 8,094
印刷費	1,026	17,280	△ 16,254
消耗品費	26,773	32,794	△ 6,021
事務手数料	92,172	27,648	64,524
旅費交通費	18,200	0	18,200
通信費	1,320	9,612	△ 8,292
雑費	100,000	0	100,000
租税公課	3,170	200	2,970
事務委託費	96,000	96,000	0
家賃	24,000	24,000	0
支払利息	29,902	25,764	4,138
管理費計	449,598	298,427	151,171
経常費用計	25,974,133	24,463,200	1,510,933
当期経常増減額	835,116	175,493	659,623
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	835,116	175,493	659,623
当期一般正味財産増減額	835,116	175,493	659,623
一般正味財産期首残高	9,282,554	9,107,061	175,493
一般正味財産期末残高	10,117,670	9,282,554	835,116
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益	0	140,543,000	△ 140,543,000
基本財産評価損	115,868,000	0	115,868,000
当期指定正味財産増減額	△ 115,868,000	140,543,000	△ 256,411,000
指定正味財産期首残高	844,585,000	704,042,000	140,543,000
指定正味財産期末残高	728,717,000	844,585,000	△ 115,868,000
III 正味財産期末残高	738,834,670	853,867,554	△ 115,032,884

正味財産増減計算書内訳表

平成30年4月1日 から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	平成30年度 (H30.4.1-H31.3.31)			
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産有価証券受取利息	578,550	30,450		609,000
基本財産受取利息	249			249
基本財産受取配当金	24,700,000	1,300,000		26,000,000
基本財産運用益計	25,278,799	1,330,450		26,609,249
② 特定資産運用益				
受取寄付金	200,000	0		200,000
受取寄付金計	200,000	0		200,000
③ 雑収益				
有価証券品貸料	0	0		0
受取利息	0	0		0
雑収益計	0	0		0
経常収益計	25,478,799	1,330,450		26,809,249
(2) 経常費用				
① 事業費				
支払助成金	22,600,000			22,600,000
表彰事業	335,100			335,100
会議費	1,217,174			1,217,174
印刷費	549,596			549,596
消耗品費	47,051			47,051
旅費交通費	50,000			50,000
通信費	145,614			145,614
雑費	100,000			100,000
事務委託費	384,000			384,000
家賃	96,000			96,000
事業費計	25,524,535	0		25,524,535
② 管理費				0
会議費		57,035		57,035
印刷費		1,026		1,026
消耗品費		26,773		26,773
事務手数料		92,172		92,172
旅費交通費		18,200		18,200
通信費		1,320		1,320
雑費		100,000		100,000
租税公課		3,170		3,170
事務委託費		96,000		96,000
家賃		24,000		24,000
支払利息		29,902		29,902
管理費計	0	449,598		449,598
経常費用計	25,524,535	449,598		25,974,133
当期経常増減額	△ 45,736	880,852		835,116
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 45,736	880,852		835,116
当期一般正味財産増減額	△ 45,736	880,852		835,116
一般正味財産期首残高	8,206,915	1,075,639		9,282,554
一般正味財産期末残高	8,161,179	1,956,491		10,117,670
II 指定正味財産増減の部				0
基本財産評価益	0	0		0
基本財産評価損	110,074,600	5,793,400		115,868,000
当期指定正味財産増減額	△ 110,074,600	△ 5,793,400		△ 115,868,000
指定正味財産期首残高	802,336,775	42,248,225		844,585,000
指定正味財産期末残高	692,262,175	36,454,825		728,717,000
III 正味財産期末残高	700,423,354	38,411,316		738,834,670

財務諸表に対する注記

平成 30年4月1日 から平成31年3月31日 まで

1. 継続事業の前提に関する注記

該当はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券は、期末日の市場価格等に基づく時価法によります。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式を採用しています。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	20,000,000	0	0	20,000,000
定期預金	0	0	0	0
投資有価証券	824,585,000	0	115,868,000	708,717,000
小 計	844,585,000	0	115,868,000	728,717,000
特定資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	844,585,000	0	115,868,000	728,717,000

(注) 投資有価証券の当期増減額は、前事業年度末における帳簿価額と時価の差額（評価損益）と期中の有価証券の取得および売却を表示しております。

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
普通預金	20,000,000	20,000,000	0	0
定期預金	0	0	0	0
投資有価証券	708,717,000	708,717,000	0	0
小計	728,717,000	728,717,000	0	0
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	728,717,000	728,717,000	0	0

6. 担保に供している資産

該当はありません。

7. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当はありません。

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当はありません。

9. 重要な後発事象

該当はありません。

10. 関連当事者との取引の内容

該当はありません。

11. その他

該当はありません。

財産目録

平成31年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
1. 流動資産				
現金預金				
	普通預金	山陰合同銀行/岡山支店	運転資金として	96,657
	普通預金	中国銀行/奉還町支店	"	5,621,439
	普通預金	三菱UFJ銀行/岡山支店	"	5,139,158
	現金預金合計	10,857,254		
流動資産合計				10,857,254
2. 固定資産				
基本財産				
	投資有価証券	ソフトバンク株式会社社債	公益目的保有財産であり、運用益の95%を研究助成事業等の財源として使用し、残り5%は管理費等の財源として使用している。	30,717,000
	普通預金	中国銀行/奉還町支店	公益目的保有財産であり、運用益を助成事業の財源として使用している。	20,000,000
	投資有価証券	株式会社ウエスコホールディングス株式2,000千株 内、618千株について貸株契約を締結している	公益目的保有財産であり、運用益の95%を研究助成事業等の財源として使用し、残り5%は管理費等の財源として使用している。 当該株式は、貸借銘柄であり日本証券金融株式会社との間に貸株契約を締結している。	678,000,000
	基本財産合計	728,717,000		
固定資産合計				728,717,000
資産合計				739,574,254
1. 流動負債				
	未払金	ANAクラウンプラザホテル岡山に対する未払額	2019年1月29日発表会会場費未払い分	739,584
流動負債合計				739,584
負債合計				739,584
正味財産				738,834,670